



今年の冬は季節外れの暖かい日があったせいか、例年並みの寒さだということにとっても寒く感じる日が多かったように思います。全国でインフルエンザウイルスが流行し学級閉鎖が起きている学校も多いようですが、皆様は体調崩されたりしていないですか？

空気が乾燥する季節は風邪の流行もそうですが、火災の発生も増加します。テレビでも火災のニュースをよく目にしますので、もしもの時の備えはしっかり確認しておきたいですね。

## 隣家から出火、賠償してもらえる？



自宅で火災が起こり家が燃えてしまった場合はご自身の火災保険から保険金を受け取ることができますが、隣家からの延焼によって自分の家が燃えてしまった場合は、火元となった隣家から賠償を受けることができるのでしょうか？

残念ながら基本的に賠償は受けられません。日本では「失火責任法」という法律で、火元に故意・重大な過失がない限り損害賠償責任を負わなくてもよいと定められています。そのため万が一、隣家の火が燃え移り自宅が火事になったとしても火元には損害賠償請求はできず、ご自身の火災保険を請求するしかありません。また、隣家火災で延焼の被害はないものの消火活動の放水によって自宅が水浸しになったなどの被害が出た場合も隣家や消防隊への損害賠償請求は基本的にはできないため、その場合も自分の火災保険を請求することとなります。

自分は火事には気を付けているから大丈夫と思っていても、隣家からの火災により被害を受ける場合もあります。自分の生活を守るために各自が火災保険に加入しておくことが必要です。

## 火災保険の補償範囲

火災保険は火災だけでなく自然災害や日常のリスクも補償可能ですので、ご自身の火災保険の補償範囲をご確認ください。自然災害が増加している近年は火災保険・地震保険の必要性が高まっています。

火災保険では地震・噴火・津波による損害は補償対象外となるため、地震が原因の建物火災・損壊、津波で建物が流されたなどの場合は火災保険だけでは保険金をお支払いすることができません。



地震・噴火・津波による損害を補償するためには地震保険が必要ですし、地震保険は単独では契約することができず、必ず火災保険にセットで契約する必要があります。地震による被害を受けると壊れた家の立て直しや修繕、仮住まいの費用などたくさんのお金が必要となり、地震後の当面の生活費として建物の補償だけで無く家財補償の保険金を受け取ることができれば生活の立て直しもしやすくなります。災害への備えとして、ご家庭でも防災グッズを常備しておくことの必要性はよく言われますが、建物及び家財の火災保険でしっかり備えるということも災害対策の一つとして考えてみてください。

地震の多い日本ではいつどこで大地震が発生してもおかしくありません。保険には入っていたけど、いざというときに必要な補償が受けられなかった。ということにはならないようにしたいですね。気になることがあればいつでもご相談ください。



## メンバー 近況報告

### ついに90切りに！

岩瀬 英之

先日、年明け初のゴルフに行ってきました。もともとは1月12日に行く予定でしたが、雪のため中止に、、、そのリベンジでやっと行くことができました。寒い中も今年は週一は欠かさず練習していたので、今回はベスト更新、さらには80台を出すと意気込んでのゴルフでした。苦手なドライバーも練習の成果出すためにしっかり使いつつ、前半は45でした。これは80台も見えてきたと気分よくお昼を食べたのですが、後半は56と大失速してしまいました。毎回後半はスコアが悪くなっているのですが、ここまで悪いのは初めてでした。一度悪くなってしまうと何を打ってもしっくり来ないまま改善できず終わってしまいました。こういうところで経験の差がでるのだなと改めてゴルフの難しさを実感しました。2月の終わりにも行くことになったので、今度こそ結果に繋がられるように練習にも励みたいと思います。これからまだ寒い時期が続きますが、ケガや体調不良にならないよう気を付けながら過ごそうと思います。



### 読書

小川 真紀

仕事や家事などの時間に追われ、ゆっくりと読書をする時間が取れていませんでした。ただ、最近は〇〇しながら聴くオーディオブックなど有り、読書の時間が取りやすい環境になっていますが、オーディオブックにせず、年始や1月の外が寒い日や雪が降る予報の日は、あえて何も予定せず紙の本を読む時間にしました。

今回の本は、まだ起きてもないことを心配したり、SNSなどの利用で他人の気持ちや言動を気にし過ぎたり、先回りして気を遣いすぎコミュニケーションに疲れてしまう場合の考え方や対処方法が書かれていました。現代は、色々なデジタルツールが有り、良くも悪くも会っている時だけでなく、常に他人の感情に接する時間が有り、気持ちが疲れたりモヤモヤしたりする方が多いようです。自分にあった対処方法、気持ちの持ち方や考え方を換え、楽しい毎日が送られると良いなと思いました。我が家の思春期の娘へも、デジタルツールを手放し、この本の読書を勧めました。



### イルミネーション

小林 希世子

子供たちが大好きなイルミネーションを見に行くため、安城産業文化公園デンパークに行ってきました。昨シーズンはウインター花火ショーなども見られて、家族全員が大満足で帰ってきたこともあり、何とか今年も見に行きたい！！早く行かないとイルミネーションの期間が終わってしまう・・・ということもあり、強風と雪がちらつくような寒空の中でしたが、耳当て・手袋・マスク着用の完全防備で出かけました。思った以上に極寒でしたが、子供たちはイルミネーションが点灯するまでの間、上着も脱ぎ捨てて、遊具で遊び続けていました。巨大なローラー滑り台があり、大人も子供もお団子状態になりながら、キャーキャー言いながら滑っていました。今年の花火ショーは残念ながらもすでに終了してしま



ン。マッピングを堪能してきました。この寒い時期しか行けないところにももっとも足を運んで、家族での思い出作りがたくさんできたらいいなと思っています。

### シールブーム

古川 友架

秋頃から小学生や20代、30代でぶっくりにしたぼんぼンドロップシールやいろいろなシールが流行っていて、ニュースにもなるほどの大ブーム。私の娘もお友達の影響からハマってパンパンになったシール帳が何冊も。店頭ではなかなか買えず、いろいろな店を回っても在庫切ればかりで親も大変です。ネットでは倍の値段で売られて、シールに1000円も出せないよと言っていたのですが、少し安いものを見つけて買っていたら5000円以上使っていました。娘もお年玉で買ったりしますが、シールにそんなお金使わないでと、結局私が買うことに。お小遣いで買える値段ではないのでどうかしてほしいです。店頭で買えないので、手作り動画を見て一緒にシール作りをしたり、シール交換もしました。手作りでもかわいいものが作れて喜んでくれるので、シールブームも悪くないなと感じています。小学3年生ですが、ルールを決めてお友達と交渉してシールを交換したり、いいコミュニケーションの勉強ツールになっているのかもしれません。いつまで続くのか…

